指導略案

１　教科・単元　　理科

２　日時　　令和5年９月13日（火） 　5時間目（１3：25～１4：15）

３　場所　　理科室

４　生徒　　中学部１年　男子２名　女子１名

５　指導者　　川野　学都

６　ねらい　　マッチとガスバーナーの基礎操作を知ろう

７　展開

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 時間 | 学習内容 | 指導上の留意点 | 備考 |
| 導入  ５分  本時の目標：火の扱い方とガスバーナーの仕組みを理解する。  展開  ４０分  まとめ  ５分 | あいさつ  本時ではマッチとガスバーナーについて学習することを確認する。  ・マッチの使い方  使う道具を確認する。  火のつけ方を聞く。  実際につけてみる。（上に持つとき、横に持つときの両方を体験）  ・ガスバーナーの使い方  ガスバーナーを３つに分解する。  下の台を調べる。  真ん中の円盤型のねじを調べる。  上にのる煙突を調べる。  ・火のつけ方  元栓をあける。  チャッカマンに火をつけ、着火部分に火を置く。  ガス調節ねじを開ける。  空気調節ねじをあける。  ・火を消す  ねじをしめ、元栓をしめる。  まとめ  使い方の振りかえり | 火を扱い、危険を伴うことを伝える。  怖い生徒は教師が手をもって一緒に行う。  穴の大きさが小さいので、必要なら針金などを使って調べる。  実際にガスを出してにおいで調べる。  細いもので空気の通り方を調べる。  マッチではなく、チャッカマンを用いて、ガスバーナーの操作に集中させる。  火の大きさは教師が指示する。  感光器で炎の様子を調べる。  空気の量は燃える音を聞いて判断する。  言葉で操作を表現させ、理解度を確認する。 | 燃えさし入れは倒れないようなものを準備する。  チャッカマンの操作は教員が行うことも想定する。 |